

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H28.04.15 8:10 墜落・転落	災害	型枠を脱型中、型枠の上に乗って作業していた作業員が、型枠支保が外された型枠に乗り、型枠が外れ、2.1m下方に落下し負傷した 男 63歳 (外傷性くも膜下出血、左肋骨骨折) 安静加療16日間	・作業床の設置を怠った ・作業員に型枠支保工の状況の伝達がされてなかった	・作業床の設置 ・入場時に情報共有を徹底 ・安全教育の徹底
2 土 (2)	H28.04.17 12:00 交通事故	維持管理	除排雪業務担当区間終点の電柱に巻き付け固定していた除雪工用標識が、強風により回転し道路側に突出したところへ、通行車両のドアミラーが当たり破損させた (物損事故) 公衆災害	・休日及び異常気象時のパトロール体制の不備 ・巻き付けが、強風により回転しやすい固定方法だった	・パトロール体制の整備 ・強風により回転しない固定方法
3 土 (3)	H28.04.21 12:05 挟み込み	道路	モーターグレーダー運転席の扉を中から閉めようとした際、扉の支点側で親指を挟んで負傷した 男 47歳 (右手拇指末節骨開放骨折) 4日間の入院	・オペレーターの不注意	・安全教育の徹底 ・重機の扉に安全喚起のシール貼付
4 土 (4)	H28.05.13 16:00 工具・資材	道路	資材置場で落石防護柵の支柱を人力にて移動しようとした際、左手中指を挟み込み負傷した 男 49歳 (右第3指末節骨骨折) 4週間の加療	・本人の不注意	・重量物の取扱いは一人で行わない ・安全具(手袋等)の着用
5 土 (5)	H28.05.26 12:10 建設機械	道路	トンネル掘削時にドリルジャンボによる切羽の削孔作業中に、削孔周辺の石屑を取り除こうとしたところ、回転するドリフターのロッドにスポンが巻き込まれて負傷した 男 46歳 (右下腿打撲)	・本人の不注意	・ロッド回転中は近づかない ・作業手順書の再確認と安全教育の徹底
6 土 (6)	H28.06.06 23:15 交通事故	道路	10tダンプトラックを工事現場から残土処理場へ運搬中、道路から逸脱し、道路脇の山留ブロック積擁壁に衝突し負傷した 男 69歳 (胸部・頭部打撲、頸椎捻挫) 3日間の安静加療	・本人の不注意	・安全教育指導の徹底 ・作業従事者の体調管理の実施
7 土 (7)	H27.06.15 11:30 墜落・転落	道路	丁張杭の撤去作業において、作業員1名が高さ1mの法面上の丁張杭を人力で除去しようとしたところ、杭が折れ、そのはずみで1m下に転落、頭部右側を強打した 男 68歳 (慢性硬膜下血腫) 31日間の休業	・本人の不注意 (法面上側から作業すべきところ、法面下側から作業した)	・作業前に作業手順・方法を十分確認する ・作業員の作業手順・方法の順守状況を確認する
8 土 (8)	H28.06.17 15:30 立木処理	河川	ダム本体工事残土処分地において、伐採作業中、伐採木がツルに絡み作業員の方へ倒れてきて、作業員の左足首が挟まれ負傷した 男 29歳 (左足部圧挫傷) 5日間の加療	・本人の不注意	・ツル巻立木の伐採は自己判断で軽率に行わない ・前処理の徹底

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 農 (1)	H28.06.22 9:15 架空物	農道	場内仮置発生土の場内運搬作業中にダンプトラックの荷台がNTT 架空線に接触、切断させた。 (物損事故) 公衆災害	・運転手、誘導員が確認を怠った	・架空線直下作業では監視人を配置 ・運転手自らの安全確認
10 土 (9)	H28.06.23 13:24 その他	道路	トンネル内舗装工事でコンクリート打設を行っていた作業員が、体調不良を感じ、病院で受診したところ、4名が一酸化中毒と診断された。 男20歳他3名(一酸化炭素中毒) 1週間入院1名、1日入院3名	・エンジン式発電機の排気不良 ・発電機排気孔付近での長時間作業	・使用機器の点検実施 ・充電型発電機の使用 ・一酸化炭素濃度測定や送風機等による換気対策の実施
11 土 (10)	H28.07.01 13:36 その他	河川	工事前受電設備の受電開始作業時に高圧ケーブルの地絡(漏電)が生じたが、通電を遮断するSOG装置(気中開閉器)が作動せず、一般家庭116戸、工業団地11事業所で最大1時間36分の停電が発生した (物損事故) 公衆災害	・開閉器制御装置の電力供給配線が圧着(接続)不良 ・上記電力供給配線を事前点検しなかった	・圧着作業、確認手順を定め、徹底する ・気中開閉器の動作確認を、通電前に確実にを行う
12 土 (11)	H28.07.14 12:00 転倒	道路	(トラック荷台から降りる際、足を滑らせ作業員1名が負傷した) 【調査中】		
13 土 (12)	H28.07.22 10:10 草刈・除草	維持管理	国道路肩部の草刈作業中、草刈り用の手持ち鎌で自分の左手人差し指を切った 男 29歳 (左第2指挫創) 全治1週間	・本人の不注意	・安全教育の徹底
14 土 (13)	H28.08.04 14:30 架空物	道路	クレーン付トラックで仮設信号機を運搬中、上がったままのクレーンアームが通信線に引っ掛かり、通信線が弛み大型車両の通行が困難となった、また、個人宅(2軒)への引込線が断線した (物損事故) 公衆災害	・作業員がアームを格納したと思い込んだ ・目視、指差呼称確認を怠った	・確認必須項目を運転席周辺に表示し、運転前の確認を徹底 ・安全教育の徹底
15 土 (14)	H28.08.05 11:30 工具・資材	道路	丁張中に木杭を設置しようとしたが地盤が固く、ハンドブレイカーのビットをセットハンマーで打撃していたところ、ビットのかけらが跳ね太腿に刺り、5mm程度大の破片が血管中を流れ肺に到達した 男 19歳 (異物性肺塞栓症・左大腿穿通外傷) 14日間の休業	・エアブレイカーのチゼルを用途以外に使用した	・下穴開け用の器具など、専用器具を使用する
16 土 (15)	H28.08.20 13:30 建設機械	河川	2tダンプトラックに積載した土砂の荷下時に、作業員2人でトラック後方のアオリを取り外そうとしたところ、バランスを崩し、アオリが左脛に落ち、作業員1名が負傷した 男 58歳 (左足脛部の裂傷)	・作業手順書にない作業を本人だけの判断で行った ・共同作業者はアオリの取り外し経験が無かった	・作業手順書を整備・共有し、手順確認と危険防止を図る ・作業初心者には、経験者が指導の上、作業にあたらせる

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 林 (1)	H28.09.13 11:30 埋設物	治山	既設の露出水道管(雑用水利用)を埋設しながら残土盛土を実施していたが、敷均し作業中、バックホウのバケットで埋設した水道管を引っ掛けて破損させた (物損事故) 公衆災害	・水道管位置の把握が不十分であった ・埋設物に対する安全管理体制が不十分であった	・埋設管位置表示の設置 ・安全管理体制の見直し ・KY活動及び作業前点検の徹底
18 土 (16)	H28.09.23 10:44 立木処理	河川	伐採した河川堤防法面の樹木(長さ約10m)を移動式クレーンで吊り上げていたところ、吊荷が大きく振れ、隣接する民家窓の庇に接触、庇を損傷した (物損事故) 公衆災害	・地切りした段階で、玉掛け状態を確認しなかった ・隣接家屋に接触する危険性について認識不足であった	・地切り時に玉掛け状態を確認する ・誘導ロープの使用 ・危険予知活動の徹底
19 林 (2)	H28.09.23 14:25 挟み込み	治山	生コンクリートの索道運搬のため、作業員1名がコンクリートバケットを付替中、ロージンブロックが突然降下し、作業員の背中に衝突、コンクリートバケットとの間に板挟みになり負傷した 男 62歳 (左肩甲骨骨折等、肺挫傷) 1ヶ月間の休業	・索道機械の運転操作ミス(巻上索ブレーキ不十分)	・指さし呼称による索道ブレーキロックの確認 ・索道直下以外での作業を徹底する
20 土 (17)	H28.09.23 15:30 飛来物・落下物	道路	トンネル坑口上部の落石対策工事において、本設の落石防護網完成後、仮設防護柵を撤去したが、その直後、直下の通行車両に落石が当たり、損傷させた (物損事故) 公衆災害	・工事前の現地点検で浮石を見落としたり (直接的な原因は不明)	・浮石及び転石の点検、除去を徹底する
21 土 (18)	H28.09.24 10:00 架空物	道路	発生土搬出の際、発生土に含まれる根株の除去作業中に、誤ってバックホウのアームを架空線に接触、約1.5m弛ませ、電柱1本を傾斜させた (物損事故) 公衆災害	・監視員不在中に単独でバックホウによる作業を実施した	・安全教育の徹底(監視員不在時は架空線下で重機作業しない) ・架空線表示、注意看板の増設
22 土 (19)	H28.10.06 9:05 墜落・転落	道路	岩盤掘削(大型ブレーカ作業)時の飛び石を防ぐため、作業員1名が移動式足場上(H=1.8m)で飛散防止シートを取り付けようとした際突風にあおられ足場が転倒、作業員が転落、負傷した 男 60歳 (頭蓋骨・左頬骨骨折) 全治4週間	・突風によるリスクが検討されていなかった	・突風によるリスクを考慮した飛散防止対策とする ・危険予知活動の徹底
23 農 (2)	H28.10.10 13:12 工具・資材	農地	水圧管(φ800)の設置工事(設置勾配約40%)中、仮置きしていた管が下方に滑り出し、近くで止めようとした作業員1名と、下方で作業していた別の作業員1名が負傷した 男46、44歳(左示指不全切断)30日加療、(右大腿圧挫傷)全治3週間	・現地条件(傾斜地)を踏まえた作業計画ではなかった ・仮置き時に管が未固定 ・上下作業を実施	・現地条件(傾斜地)に適合した作業計画を定める ・上下作業の禁止
24 土 (20)	H28.10.11 12:00 その他	建築	作業員1名が階段配筋を実施していたが、不要となった桟木(階段床型枠の傾斜部分の足掛けとして一時的に釘で取付けていたもの)の釘を踏み負傷した 男 45歳 (左足底挫創) 5日間の加療	・取り外した桟木を釘がむき出しのまま仮置きし、その付近で作業していた	・整理・整頓・清掃の徹底 ・作業手順(早期の釘仕舞、片付け等)を規定し周知徹底する

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 土 (21)	H28.10.19 15:00 その他	河川	測量作業中、測量作業員1名が疲労のため休憩を申し出て休憩していたところ、足が痙攣し立ち上がることが困難な状態になった 男 68歳 (脱水症、急性腎機能障害)	・水分補給時に十分な水分を補給しなかった(水分補給の指示に反し、本人が飲み控えていた)	・安全教育の徹底 ・チェックリストを用いて体調確認を実施
26 農 (3)	H28.10.31 10:47 墜落・転落	農道	架設桁の撤去作業において、架設桁の支持部材を取り外すため、作業員1名がジャッキアップを試みた際、ジャッキ支材が外れて当人に当たり、その拍子に架設桁から転落(約10m下)、負傷した 男 51歳 (外傷性くも膜下出血、側頭骨骨折、多発肋骨骨折他)	・指示の不徹底及び安全教育の不足(手順外の作業を独断・単独で実施)	・安全教育の徹底
27 土 (22)	H28.11.01 14:11 工具・資材	道路	掘削法面の転石除去のため、手持ち式削岩機でセリ矢の挿入工を削孔していたところ、作業員1名が左足を前に踏み込んだ際に、削岩機のドリル軸にズボンが接触して巻き込まれ、左太ももを負傷した 男 35歳 (左大腿部挫創、皮膚欠損) 3週間の加療	・不用意に削岩機に接近した	・安全教育の徹底
28 土 (23)	H28.11.03 9:20 飛来物・落下物	道路	片側交互通行で交通解放して、既設雪崩防止柵の基礎コンクリートをプレーカで取り壊していたところ、飛散したコンクリート片が通行車両に当たり、損傷させた (物損事故) 公衆災害	・飛散防止対策(柵等)を怠った ・通行車両の有無を確認しなかった	・飛散防止対策として柵等を設置する ・監視員を配置し、通行車両が有る場合は作業を中断する
29 林 (3)	H28.11.04 9:30 墜落・転落	治山	施設点検業務において、作業員1名が歩行移動中、谷川を右岸から左岸に移動するため兩岸をまたぐ倒木の上を渡ろうとした際、途中で足を滑らせ1.2m下の谷底に落下し、臀部付近を負傷した 男 65歳 (腰椎横突起骨折) 1ヶ月間の安静加療	・本人の不注意(足場の良いルートを選定すれば起こり得なかった)	・安全教育の徹底
30 土 (24)	H28.11.08 10:50 墜落・転落	維持管理	除雪車の点検中、上部の作業灯の向きを修正するため、取り付けボルトをレンチで緩めようとした際、締め付けが固くレンチが外れ、バランスを崩し地面へ落下、着地時に後方に倒れ後頭部を負傷した 男 57歳 (頭部外傷、頭部挫創) 全治1週間	・独断・単独で作業していた ・ヘルメット未着用だった ・不安定な足場で作業した ・安全教育の不足	・点検作業は単独では行わない ・ヘルメットの着用を厳守する ・安定した足場を確保する ・点検作業も安全教育を実施
31 土 (25)	H28.11.16 9:40 工具・資材	建築	ダクト工事で使用するスパイラルダクトを電動丸鋸で切断作業中、スパイラルダクトが跳ね、右手に接触、負傷した 男 19歳 (左示指挫創) 2週間の外来通院	・工具の取扱いに不慣れであった(電動丸鋸を切断材料に対し斜めにあてたため、切断材料が跳ねた)	・専用の切断工具の使用 ・安全教育の徹底
32 林 (4)	H28.11.25 9:40 工具・資材	林道	型枠設置作業において、作業員がカッターナイフを用いて型枠材料を切断していた際、手元が狂い、材料を持っていた方の手を負傷した 男 39歳 (右示指切創) 2週間の切創処置	・本人の不注意(手元が不安定な状態で切断作業を実施)	・安全教育の徹底(作業台使用の徹底等)

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (26)	H28. 11. 28 10:30 埋設物	道路	路床入れ替えのため、バックホウで掘削作業をしていた際、地下約30cmに埋設されていた上水管を損傷させた。 (物損事故) 公衆災害	・地下埋設物の確認を十分に行わなかった(現況が田畑であったため) ・架空線に気を取られていた	・工事着手前の事前調査の実施 ・安全教育の徹底
34 土 (27)	H28. 12. 19 11:00 架空物	道路	路床安定処理を実施するため、クレーン機能付きバックホウで地盤改良材を吊上げ旋回、後進したところ、バックホウのアームが車両用信号機に接触し、灯器アーム、信号機柱、地点名標識を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・オペレータの不注意 ・監視員を配置していなかった	・防護カバー等の設置 ・安全教育の徹底 ・監視員の配置
35 農 (4)	H28. 12. 24 14:20 交通事故	農道	敷鉄板を撤去するためクレーン機能付きバックホウで吊り込み旋回した際、歩道と車道との境に仮設置していた単管バリケードに吊荷が接触、車道側に押し出され、通行車両1台に接触し損傷させた (物損事故) 公衆災害	・慎重な操作を怠った ・オペレータ単独で吊荷作業を実施した	・地切時の吊荷状況確認及び慎重な操作の徹底 ・監視員、誘導員等を配置する ・単管バリケードの転倒防止
36 土 (28)	H29. 01. 11 9:30 転倒	道路	アスファルトフィニッシャの舗装厚調整レバーを操作するため、作業員1名がスクリード上のステップを横移動していたところ、足を踏み外し、仰向状態で後方に転倒し、首・腰・背中を打ち付け負傷した男45歳(頸部挫傷、末梢神経障害、第3腰椎左横突起骨折)2ヶ月間安静加療	・足元の確認を怠った	・安全教育の徹底 ・アスファルトフィニッシャに注意喚起ステッカー貼付
37 土 (29)	H29. 01. 18 19:40 交通事故	道路	道路改良工事の舗装工事実施前の状態において、既設道からの乗り入れ箇所段差が生じており、通行しようとした車両1台のバンパーを損傷させた (物損事故) 公衆災害	・段差すり付け勾配が規定(5%以内)外であった ・通行車両への予知不足(注意喚起看板等の未設置)	・段差の解消 ・注意喚起看板等の設置
38 土 (30)	H29. 01. 23 10:30 建設機械	建築	駐車場舗装工事において、路盤の不陸整正作業のため小型バックホウが後進したと同時に、人力仕上げに従事する作業員が隣接する階段から駐車場に踏み出し、ゴムキャタの部分が右足に乗り負傷した男18歳(右腓骨間部骨折)約1ヶ月の安静加療	・重機の作業範囲内立ち入り禁止措置の不十分 ・重機オペは後方確認したが外壁死角で確認できなかった	・立ち入り禁止措置の徹底 ・バックホウにバックミラーを設置 ・合図等の徹底
39 土 (31)	H29. 01. 26 9:15 流出	河川	河川締切を行うため、バックホウで大型土のうを吊り込み旋回した際、支持地盤が不同沈下し、バックホウが転倒、燃料(軽油)が河川に流出した (軽油流出) 公衆災害	・玉石などの不安定な足場状況で作業を行っていた ・支持地盤の状況が水面下で視認できない状況であった	・支持地盤の水平堅土を確保 ・支持地盤の状況が視認できるよう水面上に構築 ・定格総荷重に余裕ある機種を選定
40 農 (5)	H29. 02. 01 9:10 架空物	農地	工事箇所間の重機移動のため、バックホウを自走させていたところバックホウのアームが道路を横架している通信線に接触、切断させた (物損事故) 公衆災害	・移動経路の架空線対策が実施されていなかった	・防護カバー、位置表示等、保安措置の実施 ・安全教育の徹底 ・監視員の配置

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
4 1 農 (6)	H29. 02. 03 11:26 埋設物	農道	既設現場打側溝を撤去するため、バックホウで既設現場打側溝を引き起こそうとした際、隣接して埋設されていた情報BOX管路の外装管（波付硬質塩化ビニル管）に接触、損傷させた (物損事故) 公衆災害	・埋設管路の近接工事における事故防止措置の不実施	・埋設物位置の把握、位置表示、埋設管の防護等 ・安全教育の徹底 ・監視員の配置
4 2 土 (32)	H29. 02. 08 11:50 架空物	その他	連絡通路下部工（場所打ち杭）において、バックホウを自走移動させていた際、アームが市道を横架する架空線（通信線）に接触し弛ませた (物損事故) 公衆災害	・防護カバー等の未設置 ・バックホウ移動時の手順を確認せず必要以上にアームを立てていた ・監視員の未配置	・防護カバー等の設置 ・作業計画及び安全教育の徹底 ・監視員の配置
4 3 土 (33)	H29. 02. 16 8:40 架空物	道路	道路改良工事の舗装路盤鋤取り作業中、バックホウのアームを上げた際、道路の上空を横架していた通信線の吊ワイヤーに接触、損傷させた (物損事故) 公衆災害	・架空線対策が実施されていなかった	・防護カバー、位置表示等保安措置の実施 ・安全教育の徹底 ・監視員の配置
4 4 土 (34)	H29. 02. 17 11:30 交通事故	河川	河川改修工事において町道を掘削するため全面通行止にしていた区間に、一般車両1台が誤って進入したことに気づき、引き返そうと後進した際、別の進入車両1台と接触する事故が発生した (物損事故) 公衆災害	・交通規制方法の不備 ・隣接工事との調整不足（連続する区間を全面通行止するため、隣接工事で交通誘導員を配置していたが当日は休工で交通解放していた）	・安全施設の設置及び交通誘導員の配置 ・工程や必要な規制について隣接工事との調整
4 5 土 (35)	H29. 02. 25 15:30 架空物	河川	河川改修工事において、堤防上からバックホウで河道掘削作業をしていた際、河川を横架する架空線（防護カバー設置済）にバックホウのアームが接触し、弛ませた (物損事故) 公衆災害	・監視員の未配置 ・架空線接触・切断の危険性について認識不足	・監視員の配置 ・架空線位置の確認や危険予知活動等、安全教育の徹底
4 6 土 (36)	H29. 03. 03 9:00 埋設物	道路	既設水路を撤去するためバックホウで既設水路を持ち上げた際、既設水路の敷均しコンクリートに付随して上水道の引込み管（ポリエチレン管φ20mm）も持ち上げ、切断させた (物損事故) 公衆災害	・埋設物管理者及び監督員の立会いを得ず、試掘を行った ・引込管位置での試掘を怠った	・試掘時には埋設物管理者及び監督員に立会いを求める ・適正な位置を協議のうえ決定し、試掘を行う
4 7 土 (37)	H29. 03. 04 10:00 交通事故	道路	既設国道の歩道設置工事において、施工箇所前後区間を片側交互規制していたところ、通行車両1台が規制のため車線変更した際、反射式道路鋏（高約5cm）を踏み、左後部ホイールが損傷した (物損事故) 公衆災害	・反射式道路鋏の段差に対する対策を講じていなかった	・反射式道路鋏を撤去する
4 8 土 (38)	H29. 03. 07 8:20 挟み込み	その他	公園内の工事現場へ移動中、車両を方向転換させる際、坂道を後進で昇ろうとしたが後輪がスリップしたため、作業員1名が車両前面を押し動かそうとしたが、車両が坂道を降下し、転落防止柵との間に体を挟まれ負傷した男 43歳（骨盤骨折） 8週間の加療	・本人の不注意（車両が坂道を降下する可能性があるにもかかわらず、車両と転落防止柵との間にいった）	・狭く急勾配な園路内では、転回が必要な車両の乗り入れを中止する（徒歩移動とする） ・安全教育の徹底

平成28年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成29年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 土 (39)	H29.03.16 14:05 立木処理	河川	堤防法面の樹木(高さ約23m)伐採作業において、クレーン車で吊りながら高所作業車からの伐採作業により切り下げていた、途中、幹長5.1m分を切断したつもりが、木の皮が繋がっていたため幹が回転したことから、ブーム操作でバランスを取ろうとしたが、玉掛けワイヤーロープが切れ、隣接家屋に幹が落下し、家屋を損傷させた (物損事故) 公衆災害	・吊荷重を把握せず、不適切な玉掛けワイヤーロープを使用 ・隣接家屋を考慮せず切断長を長くとした ・玉掛けワイヤーロープの点検、確認を怠った	・吊荷重量把握と適切な玉掛けワイヤーロープの使用 ・周囲状況等を考慮した作業の実施 ・玉掛けワイヤーロープ等使用器具の点検の徹底
50 土 (40)	H29.03.17 11:00 草刈・除草	河川	河川改修工事の準備工において、草刈機により河川法面の除草を行っていた際、切株に刈刃が当たってキックバックを起こし、前に踏み出していた当作業員の右足の甲に接触し負傷した 男 38歳 (右足部挫創) 約1ヶ月間の安静加療	・作業箇所の確認不足 ・肩掛け(腰固定)ベルトの未着用 ・防護カバーの位置不適切	・作業箇所の安全確認 ・肩掛け(腰固定)ベルトの着用 ・防護カバーの適正な装着
51 土 (41)	H29.03.17 11:30 埋設物	砂防	豪雨によって被災した玉石積護岸をブロック積にて復旧するため、被災直後に応急仮工事で設置した大型土のうを撤去し、斜面上部から1m単位で1:0.4の勾配で整形程度の掘削を開始した。2m付近まで掘削を行ったとき斜面上部の巨石、住宅のブロック塀を含む土砂が一気に崩壊し、地山内の水道管も破損した (物損事故) 公衆災害	・背面地山に宅地造成による緩い層が存在しており、この緩い層の上に巨石とブロック塀があったため、この荷重に耐えられず崩壊が発生した	・実施設計時における現場に即した施工計画の立案 ・着工前の設計照査による施工の妥当性及び安全性のチェック ・専門家への相談等の検討
52 土 (42)	H29.03.21 11:40 埋設物	その他	公園内の案内看板設置工事において、標識基礎設置のため花壇内を掘削中に深さ約40cmのところにあった水道管(塩ビ管φ16mm)を破損させた (物損事故) 公衆災害	・埋設物のルート、深さが不明であったにもかかわらず試掘を怠った ・安全管理意識が不十分	・埋設物が予想される場合は、不用意に機械を用いず人力で行う ・関係者全員で危険因子の情報共有を図る
53 土 (43)	H29.03.21 13:13 墜落・転落	砂防	資材等片付けのため、斜面天端から土羽法面途中に置いてあった資材を拾おうとして足元が滑り、埋戻し前の床付け面まで転落し、左側頭部を打ち負傷した 男 51歳 (外傷性くも膜下出血) 約2ヶ月の加療	・資材搬出工程における安全性の欠如 ・立入防止措置の不備	・資材等は斜面上に置かない ・転落の可能性がある箇所に立入防止柵を設置 ・立入禁止箇所の明確化
54 土 (44)	H29.03.24 8:30 工具・資材	河川	河川護岸工事の小口止工の脱枠作業において、通常は、横パイプ、縦パイプの順に外す必要があるが、今回、作業員は横パイプのみを先行して外したため、縦パイプが上から落下し、右足甲を負傷した 男 38歳 (右足切創)	・本人の不注意 (作業手順書と異なる手順で作業を行った)	・当日の作業に関する作業手順書を周知させるとともに、チェック表で把握状況を確認する ・安全教育の徹底